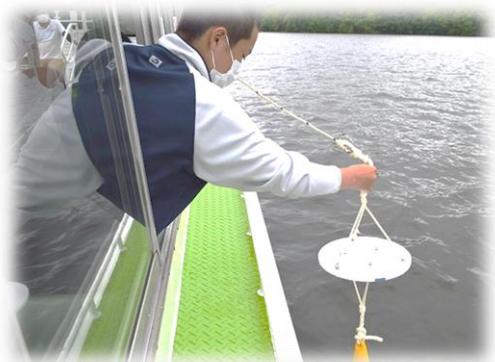


# SSH大沼環境調査(1学年)

6月23日(火)～25日(木)の3日間、1学年の『SS研究基礎』の授業の一環として、大沼国立公園一帯を対象とした環境調査・巡検を実施しました。

## 【大沼遊覧船コース】

…船に乗って大沼最深部まで移動し、ロープ付きバケツを下ろして採水し、水温とpHを測定しました。また、透視度計で沼の透明度や、プランクトンネットを用いた、プランクトンの観察を行いました。



## 【植生調査コース】

…事前にSS生物基礎で学習した植生に関する知識を基に、環境省自然公園指導員の金澤晋一氏、大沼ラムサール協議会事務局・七飯町民生部環境生活課の吉田浩平氏を講師としてお招きし、大沼周縁部をバスで巡検しながら、植生について学習しました。



## 【バイオガスプラントコース】

…株式会社エネコープのバイオマスプラントエネルギー技術開発研究所を訪問し、所長の一戸祐二氏から、有機物(廃棄食料等)からメタンを生成し、発電する仕組みについて説明を受け、また施設見学を行いました。



## 【河川水採取コース】

…大沼に流入する河川3カ所で採水を行い、河川水の透明度を測定しました。橋からバケツをゆっくり下ろして採水し、その後、水温・pH・透明度を測定しました。



環境調査・巡検後、学校に戻ってきてから、化学教室・生物教室で、採水した試料水に含まれている栄養塩濃度やCODを測定しました。また、加熱による、試料水の官能試験(嗅覚測定法)を行いました。

生徒からは、「授業で学んだことが、実際に起こっていることに感動した」「ミジンコも自力で観察でき、良い機会になった」といった声がありました。

今後、環境調査・巡検で得た結果を基に、大沼が抱える問題について、探究活動を行い、プレゼンテーションを行う予定です。

実施にあたり、ご協力いただきました皆様には感謝申し上げます。ありがとうございました。